

令和2年度第2回宮城県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
運営協議会開催概要

- 1 開催日時 令和3年3月2日(火) 10時00分～11時40分
- 2 開催場所 宮城職業能力開発促進センター 多賀城実習場 本館多目的ホール

3 議題

(1) 令和2年度事業進捗状況と令和3年度計画等

- ①早期再就職への支援
 - ・ハロートレーニング(離職者訓練)
 - ・ハロートレーニング(求職者支援訓練)
- ②生産性向上等に取り組む事業主等への支援
 - ・ハロートレーニング(在職者訓練)
 - ・指導員派遣、施設設備貸与
 - ・生産性向上支援訓練
 - ・IT活用力セミナー
- ③高度実践技術者・将来の生産現場リーダーの育成

(2) その他

- ①高齢・障害者業務課における業務実施状況

■ 質疑・意見

資料に沿って事務局から説明が行われた後、質疑応答及び意見交換が行われた。
主な意見は以下のとおり。

- ・離職者訓練、求職者支援訓練について、コロナの影響を受けて離職した、小売や飲食店などの方が今までどおりの職種で働くことは難しいため、異なる業種で働くことに役立つ訓練をしていただきたい。訓練を受講し、再就職先で活躍できる人が増えるようにコースを設定していただきたいし、積極的な募集もしていただきたい。
- ・今年度は、コロナ禍により、企業側からの解雇などによる失業者も多く、雇用調整助成金などの申請も多い状況の中、離職者・求職者の訓練ニーズについて、把握するチャンネルを増やすことも必要と考える。
- ・在職者訓練は、コロナで休業された方々が休業中に能力を高められるため、良い取組である。県内の中小企業は、人材育成や技能継承に不安を抱えており、かつ生産性向上には大きな関心があると思われるので、今後、積極的に訓練を実施していただきたい。
- ・IT化がなかなか進まない問題や、人材の育成に係る課題は非常に重要であり、企業は総合的なマネジメントができる人材をなかなか養成できていないという課題を抱えている。また、若年者の採用やデータの分析・活用を出来る人材等の確保や育成にも苦慮しているため、引き続き支援をお願いしたい。

以上

令和2年度第2回宮城県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
運営協議会委員名簿

嵩 さやか	東北大学大学院法学研究科教授
藤原 陽	株式会社河北新報社社長室次長兼人事部長
大黒 雅弘	日本労働組合総連合会宮城県連合会事務局長
大倉 克志	宮城県退職者連合事務局長
稲妻 敏行	宮城県商工会連合会専務理事
大内 仁	宮城県中小企業団体中央会専務理事
西村 博英	一般社団法人宮城県建設業協会専務理事兼事務局長
今野 薫	仙台商工会議所専務理事
毛利 正	厚生労働省宮城労働局長
佐藤 靖彦	宮城県経済商工観光部次長
深谷 晃祐	多賀城市長
村上 靖	宮城県立仙台高等技術専門校長

(敬称略・順不同)